



2015 年国勢調査結果からみる県内の人口動向

わかつく 159 号では和歌山市内 42 地区の 5 年間の人口推移をご紹介しましたが、今回は県内全市町村の 2010 年から 2015 年までの 5 年間の人口推移をご紹介します。
すべての自治体が、概ね 2060 年までの人口の減少抑制や転入人口増加などを旨とする「人口ビジョン」として策定しています。多くの人口ビジョンの根拠となっているのは、国立社会保障・人口問題研究所 (社人研) が 2013 年に発表した人口推計。この推計と 2015 年の人口の差を求めてみました。

社人研推計人口と「人口ビジョン」
下の表は、一昨年 10 月の国勢調査による各自治体の人口を総数と年少 (0~14 歳・生産 (15~64 歳)・高齢 (65 歳) の各年齢区分に表示し、さらに前回の国勢調査の結果との差、社人研推計との差を表しています。
「社人研」とはあまり聞きなれないかもしれませんが、これは社会保障や人口問題などに関する研究をおこなっている国立の調査機関です。この社人研は、2010 年国勢調査の結果をベースに 2013 年 3 月に「日本の地域別将来推計人口」として全国の市区町村の将来推計人口を 2040 年まで 5 年刻みで公表しています。
一方、いわゆる「消費可能性自治体」という言葉は耳にされたことがある方も多いのではないのでしょうか。「日本創成会議」(座長・増田寛也元総務大臣) が、社人研「日本の地域別将来推計人口」をベースに、2010 年から 30 年間で 20 代・30 代の女性の人口が半数以上減少するとみられる自治体を調査し、全国の自治体の約半数にあたる 896 市区町村が「将来の存続が危ぶまれる」と指摘されています。

また人口が減少している自治体でも太地町や北山村、有田川町などでは社人研推計と比較して 2% 以上人口が多くなっており、推計よりは人口減少の傾向が緩やかになっていいます。和歌山市もわかつく 159 号で取り上げた通り、人口減少の流れはやや緩やかになってきていることがうかがえます。
(志場久起)

また人口が減少している自治体でも太地町や北山村、有田川町などでは社人研推計と比較して 2% 以上人口が多くなっており、推計よりは人口減少の傾向が緩やかになっていいます。和歌山市もわかつく 159 号で取り上げた通り、人口減少の流れはやや緩やかになってきていることがうかがえます。
(志場久起)

和歌山県内初開催！行政・自治体等関係者必見！

学習会 地域づくりはこれからどう変わる？ ~市民が主役のまちづくり~

7月14日(金) 18:00~20:30
和歌山市勤労者総合センター4階 大会議室

現在、和歌山県や和歌山市などの自治体で、地域住民が主体となった地域づくり活動の動きが活発になっています。この動きをさらに進め、地域運営に市民が参画できる仕組みづくりが今後求められます。先行事例に学び、和歌山でできることをいっしょに探りませんか。



【講師】川北秀人さん (IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所) 代表者 兼 「ソシオ・マネジメント」編集発行人
【コーディネーター】堀内秀雄 (和歌山大学名誉教授・わかやま NPO センター副理事長)



お申込みはこちらから→

また人口が減少している自治体でも太地町や北山村、有田川町などでは社人研推計と比較して 2% 以上人口が多くなっており、推計よりは人口減少の傾向が緩やかになっていいます。和歌山市もわかつく 159 号で取り上げた通り、人口減少の流れはやや緩やかになってきていることがうかがえます。
(志場久起)

また人口が減少している自治体でも太地町や北山村、有田川町などでは社人研推計と比較して 2% 以上人口が多くなっており、推計よりは人口減少の傾向が緩やかになっていいます。和歌山市もわかつく 159 号で取り上げた通り、人口減少の流れはやや緩やかになってきていることがうかがえます。
(志場久起)

各市町村の人口と年少・生産・高齢人口割合

2010 年・2015 年国勢調査、2013 年 3 月公表「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所) をもとに作成。公式発表等とは若干の差異がある場合があります。

- 「総数」は 2015 年国勢調査による (以下同じ) 人口総数 (年齢が求められなかった人口を含む)、「年少人口」は 0~14 歳、「生産人口」は 15~64 歳、「高齢人口」は 65 歳以上の人口の総数。その右側の「10 年比」は、2010 年国勢調査時との差と増減の割合。
●「13 年社人研推計」は、2013 年 3 月に発表された国立社会保障・人口問題研究所 (社人研) 「日本の地域別将来推計人口」において示されていた 2015 年の推定人口。「実数との差」は社人研推計と国勢調査の実際の値との差 (総数の項目には増減割合も付記) で、これがプラス (黒色) になっていれば、社人研推計よりも実際の人口が多かったことを、マイナス (赤色) になっていれば、社人研推計よりも実際の人口が少なかったことを示す。

Table with 16 columns: 市町村名, 総数, 10年比, 13年社人研推計, 実数との差, 年少人口, 10年比, 13年社人研推計, 実数との差, 生産人口, 10年比, 13年社人研推計, 実数との差, 高齢人口, 10年比, 13年社人研推計, 実数との差. Rows include 和歌山市, 海南市, 橋本市, etc.

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- オープン講座 保育と子育て支援について学ぼう！
安心して子どもを預けるための保育所、幼稚園や学童保育などの施設やサービスについて学びます。
日時 7月1日(土) 10:00~12:00
場所 和歌山ビッグ愛9階会議室B
講師 細川裕之さん (和歌山県子ども未来課)
参加費 無料
定員 30名 (申し込み必要)
申し込み 和歌山イコール会議働き方部会 (メール wec_1201@yahoo.co.jp TEL/FAX: 073-487-3229)
●桃×すももフェア
きのかわ支援学校和太鼓部の演奏 (11時~) のほか、季節の桃やすもも等の販売、模擬店なども出店予定。
日程 7月8日(土) 9:00~16:00
場所 柿の茶屋 (かつらぎ町西飯阪614-1)
参加費 無料
問い合わせ NPO 法人よりみち (0736-22-7024)
●ゆるりと交流会
インターネットを使ったテレビ電話を体験してみませんか。
日程 7月8日(土) 14:00~16:00
場所 和歌山県 NPO サポートセンター・サークル活動室 (和歌山ビッグ愛9階)
内容 skype を使ったテレビ電話の体験をおこないます。
入場料 無料
問い合わせ 和歌山県 NPO サポートセンター (073-435-5424)
備考 時間内入室自由。
参加費 無料 (申し込み必要)

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」
URL http://eventboard.shiminkuj.jp/